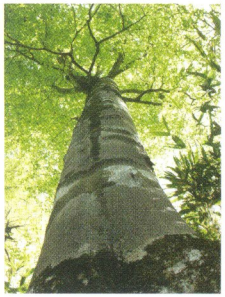

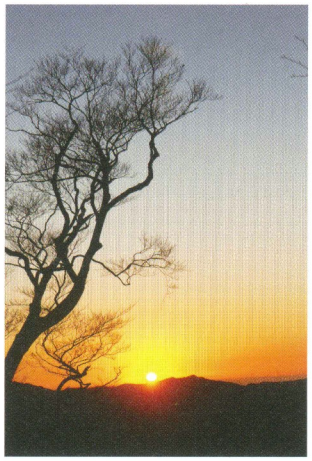

カシバル峠
「カシバル峠」は、スキー場のリフト乗り場となるパーキングセンター付近です。

ゴボウ畠
登山口の俗称「ゴボウ畠」付近は、五ヶ瀬川の水源地帯で、シオジ、クルミ、カツラ、アサダなど湿地帯を好む樹木が繁っています。

日肥峠
ゴボウ畠から「日肥峠」までは約600m。スタートして20分ほどで、日肥峠に到着します。日肥峠の又の名を杉越えとも呼びます。

水呑
白岩山頂から15分くらいのところに「水呑」という標識があります。ここから右へ50mほど入ったところに耳川源流の水源があり、冷たい湧き水が流れています。この付近一帯を「水呑」と呼び、その昔霧立越を行く人々のオアシスであったことが伺われます。

水呑頭
水呑の上部には、「水呑の頭（かしら）」に登る分岐があります。この道を15分程登れば三角点のある水呑の頭に到着します。

灰木の頭
水呑から約1時間歩くと尾根を左から右にまたく岩場の峰に出ます。ここを「灰木の頭」といいます。

馬つなぎ場
霧立越中最も尾根の広がりがあるところで、その昔、馬方さんがここで馬を休めたと言われています。

山小屋
山小屋には霧立越ルート唯一のお手洗いがあります。小屋の先約20mのところに湧き水もあります。

松木登山口 —40分— 山小屋 —40分— 平家プナ —60分— 馬つなぎ場 —20分— 灰の木の頭 —60分— 水呑 —15分— 白岩山 —30分— 日肥峠 —20分— ゴボウ畠 —15分— カシバル峠

山小屋 —30分— 扇山 —70分— 内ノ八重登山口

※霧立越は距離約12km、約5時間かかります。
各登山口まで公共交通機関が通っていません。

KIRITACHIGOE（霧立越）